

1-4 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事【担当：事務局学務課】

(1) 入学者に関する受入方針

■建学の精神

- 一、進取の精神と自由闊達な気風
- 一、医学・医療の攻究と地域医療への貢献

■理念

- 最高レベルの医科大学を目指します
- 人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進します
- 国際的・先端的な研究を進めます

■アドミッション・ポリシー

<医学部>

求める学生像

札幌医科大学医学部は、北海道民の健康と医療を守り、地域や国際医療に貢献できる医師及び国際的・先端的研究を通して世界に貢献できる研究者を育てます。我々は命を尊ぶ心を持ち、病める人を救う情熱のある医師を育てていくために、以下に掲げる能力・資質を有する学生を求めます。

【知識・技能】

1. 高等学校等で学ぶ諸教科に関して高い基礎学力を有し、強い学習意欲を有する人
2. 国際的視野で考え行動し、科学的探究心と創造力を持って生涯にわたって学修に取り組む能力を持っている人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

1. 様々な事象に対し、関心と理解力をもつ人
2. 自分自身で得た知識・情報をもとに論理的思考を行うことができる人
3. コミュニケーションに必要な口頭・文章表現力を有する人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

1. 積極的に自ら物事に取り組む姿勢を有する人
2. 他者の考えの理解に努め、多様な属性の人々と協調して良好な関係を築くことができる人
3. 社会生活で守らなければならない法律や道徳に従い、良識ある行動ができる人

入学までに学習しておくことが期待される内容

1. 高等学校等で学ぶ諸教科に関する高い基礎学力
 - 1) 医学を学修するための基礎学力：生命科学としての医学を学修するにあたって、生物、化学、物理及び数学の基礎学力は必須です。さらに、医療と医学研究の場では、人との交流が基盤となります。それを支えるコミュニケーション能力を発揮するために、論理的に思考し、相手に伝えることのできる正確な日本語と国際的視野で考え行動するための英語の学力が重要です。
 - 2) 人類の文化や自然、社会に関する幅広い基礎知識：医学研究と医療の実践には、人文社会科学の視点から健康・疾病を理解することが必要です。そのために、自然科学のほか、人文社会科学など幅広い領域に関する基礎知識が不可欠です。
2. 自ら課題を探究し、問題を解決する学習習慣
医師には生涯にわたる自己研鑽が求められます。自ら課題を抽出し、問題点・疑問点を解決していく積極的な学習姿勢が必要です。
3. 自主的、協調的な態度と行動
チーム医療なしには医療は実践できません。医師は、医療チームの一員として、他者と連携・協調して行動することが求められます。
4. 健康な生活を送るための基本的な生活習慣
人々の健康を守り、病に立ち向かう医師となるための精神力と体力が必要です。まず、自分の健康に心がけ、基本的な生活習慣を身につけていることが不可欠です。

○入学者選抜の基本方針

入学者に求める資質・能力について、下表に示す入学者選抜方法により評価・判定します。
※○及び◎は入学者選抜方法と学力の3要素との対応関係を示すものであり、配点の比重を示すものではありません。

入試区分	入試枠	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	一般枠	大学入学共通テスト	◎	○	
		個別学力検査	◎	○	
		面接（個人）	○	◎	◎
	札医大 卒後研修枠	大学入学共通テスト	◎	○	
		個別学力検査	◎	○	
		面接（個人）	○	◎	◎
総合型選抜	道民枠	出願書類・調査書等	◎	○	
		大学入学共通テスト	◎	○	
		小作文	○	◎	
		面接（個人）	○	◎	◎
		面接（集団）	○	◎	◎
		自己推薦書		○	○
学校推薦型選抜	特別枠	出願書類・調査書等	◎	○	○
		大学入学共通テスト	◎	○	
		小作文	○	◎	
		面接（個人）	○	◎	◎
		自己推薦書		○	○
私費外国人留学生選抜		日本留学試験	◎	◎	
		個別学力検査	○	○	
		面接（個人）	○	◎	◎
		出願書類		○	◎

<保健医療学部>

札幌医科大学保健医療学部は、札幌医科大学の建学の精神、理念に基づき、看護師・理学療法士・作業療法士に求められる実践能力やそれぞれの学問分野の発展に寄与する研究能力の基礎・基本を育むことを目的に、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）に基づく教育を行っています。このような教育を受けるための条件として、以下に掲げる能力・資質を具えた学生を受け入れます。

求める学生像

【知識・技能】

1. 高等学校等の教育課程で学ぶ知識・技能を幅広く、かつ高いレベルで有している
【思考力・判断力・表現力等の能力】
2. 社会の様々な課題について、知識や情報をもとに筋道を立てて論理的に思考し、自分の言葉で表現できる
3. 知的探求心をもって広く社会に目を向け、柔軟な発想で物ごとをとらえることができる
【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】
4. 良心と社会規範にしたがって良識ある行動をとることができる
5. 人々との交流を大切にし、常に温かな配慮をもって他者と接することができる
6. 自らの成長のために粘り強く物ごとに取り組むことができる

入学までに学習しておくことが期待される内容

1. 高等学校等で学ぶ諸教科に関する高い基礎学力
 - 1) 人類の文化や自然、社会に関する幅広い基礎学力保健・医療・福祉は人間を対象に社会の中で営まれる実践です。そのために、文化や自然、社会に関する偏りのない基礎知識が不可欠です。
 - 2) 人々との交流を深め、論理的に思考し表現するための基礎学力
保健・医療・福祉の実践は人々との交流を基盤とします。また、物ごとを多面的に捉えて論理的に思考し、相手に伝えることのできる日本語の能力、国際的視野で考え行動するための外国語力が重要です。
2. 他者との連携・協働を必要とする課題に対し、誠実に取り組む姿勢
保健・医療・福祉の実践はチームで取り組みます。他者と連携・協働して何かに取り組んだ経験は専門的実践を学ぶ上での力となります。
3. 自らの疑問を解決し、知識を深めるための学習習慣
専門職には生涯にわたる自己研鑽が求められます。疑問を解決するために、また、知識を広げ深めるために、自ら進んで調べ学ぶ習慣を身につけておく必要があります。
4. 健康な生活を送るための基本的生活習慣
人々の健康と生活を守るためには、自分の健康に心がけ、しっかりとした基本的生活習慣を身につけていることが不可欠です。

入学者選抜の基本方針

入学者に求める資質・能力について、下表に示す入学者選抜方法により評価・判定します。
※○及び◎は入学者選抜方法と学力の3要素との対応関係を示すものであり、配点の比重を示すものではありません。

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・ 表現力等の能力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト	◎	○	
	面接（個人）		◎	○
	面接（集団）		○	◎
	出願書類・調査書	◎	○	○
学校推薦型 選抜	大学入学共通テスト	◎	○	
	小論文	○	◎	○
	面接（個人）	○	◎	◎
	出願書類・志願理由書		○	◎
	出願書類・調査書	◎		
	出願書類・推薦理由書	○	○	◎
私費外国人 留学生入試	日本留学試験	○	◎	
	面接（個人）	◎	○	◎
	出願書類・履歴書	○		○
	出願書類・志願理由等調査書		○	◎

<大学院医学研究科>

医学研究科・博士課程では、将来、医学研究者となるべき人材として、次のような資質を持った人を求めます。

【知識・技能】

1. 知的好奇心、科学的探究心を持ち、高度な知識・技術の修得に励む人
【思考力・判断力・表現力等の能力】
2. 創造性に富み、応用・発展への意欲を持つ人
【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
3. 高い倫理観を備え、医学の分野で活躍する意思を持つ人
4. 国際的な視野を持ち、社会や科学の問題にあたる気概のある人

医学研究科・修士課程では、将来、高度の医学専門性を必要とする職業を担う人材として、次のような資質を持った人を求めます。

【知識・技能】

1. 知的好奇心、科学的探究心を持ち、医学的な知識・技能の修得に励む人
【思考力・判断力・表現力等の能力】
2. 医科学の専門知識を体系的、集中的に学びとる意欲を持つ人
【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
3. 医科学に関連する様々な価値観を共有し、研究・教育・実務分野における貢献を志す人

<大学院保健医療学研究科>

保健医療学研究科では、看護学・理学療法学・作業療法学の発展と、保健・医療・福祉の質の向上に寄与する高度な専門的知識、実践能力、研究能力を備えた実践者、研究者の育成を目指しています。そのため、以下のような人材を求めます。

<博士課程前期>

【知識・技能】

1. 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な知識と技術を備え、批判的・論理的思考力を有している人
【思考力・判断力・表現力等の能力】
2. 保健・医療・福祉の諸問題に深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わることを自己の目標としている人
【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】
3. 多様化・複雑化する人々のニーズに応えるため、専門分野における卓越した実践能力を獲得したいと願っている人
4. 豊かな人間性と論理性を有し、地域の保健・医療・福祉に貢献する意思のある人
5. 研究成果を発信することにより、保健・医療・福祉の充実と発展に貢献する意思のある人

<博士課程後期>

【知識・技能】

1. 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な学識、批判的・論理的思考力と科学的探求心を備え、新たな知の創造に意欲を有する人
【思考力・判断力・表現力等の能力】
2. 保健・医療・福祉の諸問題に広く深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わることを自己の目標としている人
【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】
3. 豊かな人間性と倫理性を有し、国際的な視座で人々の健康に貢献する意思のある人
4. 研究成果を国内外に広く発信することにより、保健・医療・福祉の発展に貢献するとともに、科学の発展に寄与したいと願う人

<専攻科>

■求める学生像

札幌医科大学専攻科は、北海道の保健・医療・福祉に貢献する、高度な知識と優れた技術を備えた創造性に富む人間性豊かな保健師・助産師を育成することを目的としています。そのため次に掲げるポリシーにより学生を求めます。

【知識・技能】

1. 公衆衛生看護学、もしくは助産学の基盤となる看護学の基礎・基本を高いレベルで修得している人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

2. 北海道の保健・医療・福祉に深い興味・関心を有し、保健師もしくは助産師として地域に貢献したいと考えている人

3. 看護上の諸課題の解決に必要な実践力を有している人

【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】

4. 多様な価値を尊重し、高い倫理観を持って行動する姿勢を有している人

5. 看護職としての役割を認識し、専門職としてのキャリアデザインを描いている人

■入学までに学習しておくことが期待される内容

1. 看護実践に関する基礎・基本の知識と技術を統合する能力

2. 看護の対象者の健康上の課題を明らかにし、論理的・科学的思考によって解決する基本的能力

3. 看護の対象者や協働する人々と良好な対人関係を築き、連携・協調する能力

4. 看護職としての役割と責任を認識し、高い倫理観をもって実践する基本的能力

5. 看護職としてのキャリアビジョンを有し、自己研鑽を継続する姿勢

■入学者選抜の基本方針

入学者に求める資質・能力について、下表に示す入学者選抜方法により評価・判定します。

※○及び◎は入学者選抜方法と学力の3要素との対応関係を示すものであり、配点の比重を示すものではありません。

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・ 表現力等の能力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般入試 (公) (助)	看護学一般	◎	◎	
	面接		◎	○
	入学願書		◎	○
	成績証明書	○		
	志望理由書		◎	◎
学内推薦入試 (公)	看護学一般	○	○	
	面接		◎	○
	入学願書		◎	○
	志望理由書		◎	◎
	推薦書			◎
社会人入試 (公)	看護学一般	○	○	
	面接		◎	○
	入学願書		◎	○
	成績証明書	◎		
	志望理由書		◎	◎
地域社会人特 別推薦入試 (助)	看護学一般	○	○	
	面接		◎	○
	入学願書		◎	○
	成績証明書	◎		
	志望理由書		◎	◎
	推薦書			◎

(2) 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者、留学生の数など
 () の数は女性で内数

区 分		受験者数	合格者数	入学者数	転編入学	在学者数	中退率	《編入学定員》 収容定員	卒業生数			留学生数
									計	うち就職者数	うち進学者数	
医学部	医学科	378	112	110 (43)	0	661 (223)	0.7%	660《0》	115 (36)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
保健医療学部	看護学科	110	50	50 (48)	0	201 (192)	0.0%	200《0》	50 (48)	37 (35)	13 (13)	0 (0)
	理学療法学科	46	20	20 (8)	0	80 (33)	0.0%	80《0》	21 (16)	18 (15)	3 (1)	0 (0)
	作業療法学科	37	20	20 (14)	0	81 (59)	0.0%	80《0》	20 (18)	19 (17)	0 (0)	0 (0)
医学研究科	修士課程	5	5	4 (3)	0	11 (8)	0.0%	20《0》	5 (3)	2 (2)	1 (0)	0 (0)
	博士課程	35	35	35 (8)	0	184 (47)	2.3%	200《0》	34 (10)	28 (9)	0 (0)	1 (1)
保健医療学研究科	看護学専攻 博士課程前期	6	5	5 (5)	0	11 (11)	0.0%	24《0》	5 (3)	5 (3)	0 (0)	0 (0)
	看護学専攻 博士課程後期	3	2	2 (0)	0	9 (3)	0.0%	6《0》	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	理学療法学・作 業療法学専攻 博士課程前期	16	12	12 (3)	0	25 (9)	0.0%	24《0》	14 (5)	9 (2)	5 (3)	0 (0)
	理学療法学・作 業療法学専攻 博士課程後期	9	9	9 (3)	0	21 (5)	0.0%	18《0》	8 (1)	8 (1)	0 (0)	0 (0)
専攻科	公衆衛生看護 学専攻	51	15	15 (15)	0	15 (15)	6.3%	15《0》	15 (15)	15 (15)	0 (0)	0 (0)
	助産学専攻	42	15	15 (15)	0	15 (15)	0.0%	15《0》	15 (15)	15 (15)	0 (0)	0 (0)

※令和7年10月1日現在

※受験者数、合格者数及び入学者数は令和7年度で、合格者数には追加合格者を含む

※中退率及び卒業生数は、令和6年度実績

※中退率には除籍者、満期退学者も含む

(3) その他進学及び就職等の状況に関すること

医学部卒業生は、2年間の臨床研修が義務づけられており、就職者は0名としたところ。

(4) 国家試験の合格率の状況

■医学部医学科～医師国家試験

区 分	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	平成2年
全 体	92.3 %	92.4 %	91.6 %	91.7 %	91.4 %	92.1 %
札幌医科大学	93.4 %	95.0 %	93.3 %	87.8 %	94.5 %	91.7 %
国立大学	93.5 %	92.9 %	92.4 %	92.2 %	92.5 %	92.8 %
公立大学	94.5 %	93.8 %	94.5 %	93.5 %	93.3 %	95.4 %
私立大学	93.3 %	94.1 %	92.3 %	92.4 %	91.1 %	93.3 %

■保健医療学部看護学科

・看護師国家試験

区 分	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
全 体	90.1 %	87.8 %	90.8 %	91.3 %	90.4 %	89.2 %
札幌医科大学	100.0 %	100.0 %	98.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
国立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
公立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
私立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %

・保健師国家試験

区 分	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
全 体	94.0 %	95.7 %	93.7 %	89.3 %	94.3 %	91.5 %
札幌医科大学	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
国立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
公立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
私立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %

■保健医療学部理学療法学科～理学療法士国家試験

区 分	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
全 体	89.6 %	89.3 %	87.4 %	79.6 %	79.0 %	86.4 %
札幌医科大学	95.7 %	86.4 %	94.7 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
国立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
公立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
私立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %

■保健医療学部作業療法学科～作業療法士国家試験

区 分	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
全 体	85.8 %	84.4 %	83.3 %	80.5 %	81.3 %	87.3 %
札幌医科大学	95.5 %	83.3 %	90.5 %	95.5 %	90.5 %	90.5 %
国立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
公立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
私立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %

■専攻科助産学専攻～助産師国家試験

区 分	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
全 体	98.9 %	98.8 %	95.6 %	99.4 %	99.6 %	99.5 %
札幌医科大学	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
国立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
公立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
私立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %